

令和7年新年度を迎えて

今年 は年明けから寒い日と初夏を思わせる日が交互に続きながら、春が近づいたり遠のいたりと思わせぶりなスタートでした。そんな中、梅の花は予定通りに咲き始め、花桃や桜は3月末の寒い中、あつという間に満開となりました。

昨 年は正月から能登半島地震と羽田空港の飛行機事故で始まり、日本中が騒然としていました。頻発する地震の中、気象庁や太平洋岸の各自治体では南海トラフ地震の被害予想が10年ぶりに臨時地震情報として見直され、公表されております。日本における地震の実情は、この50年で震度5以上の地震が61回あり、その内訳は東京都が19回(島しょ部を含む)、続いて宮城が17回、北海道が15回と、地震大国と言われる所以です。過去の地震のエネルギーを比べると、2011年3月の東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)がマグニチュード9.0、能登半島地震がマグニチュード7.6、3月28日にはマグニチュード7.7のミャンマー地震が発生しており、隣の国のタイにも大きな被害を出しました。南海トラフ地震ではマグニチュード9を目安に、近年にない広域の地震被害を想定しています。

それ以外の自然災害では、記憶に新しいところでは2025年1月のロサンゼルス山火事があり、米国史上最も甚大な被害の山火事となりました。日本においても岡山、大船渡、愛媛では、原因はさまざまですが、大規模な山林火災が数日にわたり続きました。この3ヶ月を見ても、避難を余儀なくされる地球規模の自然災害が起きており、自然災害に対する備えとして防災意識を変えていかなければいけないと思います。

地震 に対しては、家屋の耐震性の向上、家具の固定化、津波に対して事前避難計画の見直しなどの意識の向上が大切な要素とされており、10分以内に避難すれば人的被害を7割減少させるとされています。従来の「72時間なんとか耐え忍んで救助を待つ」という考え方から、個々の人が1週間ぐらいの備蓄を用意し、身の安全を確保しつつ乗り越えることの大切さが強調されております。

今後、高齢化社会に変化していく中で、地域社会での助け合いと高齢者を中心とする体力維持など、フレイル対策が見直されています。私ども神奈川県リハビリテーション支援センターでも、災害時に“地域包括ケアシステム”の充実こそが究極の防災対策と考えております。すなわち、地域社会における助け合い(自助、公助、共助、互助)で災害を乗り越え、地域社会の再建に寄与できるよう、地域リハビリテーションの充実に取り組む所存です。

2025年4月
神奈川県リハビリテーション支援センター 所長 村井政夫

2024年度の専門相談 総数

	障害者更生相談所	居宅介護支援事業所	市町村	地域包括支援事業所	本人・家族	障害者相談支援事業所	障害者施設	医療機関	訪問看護事業所	保健福祉事務所	高齢者施設	訪問介護事業所	教育機関	その他	合計
県央		1	1		7	5	13(8)	4	5	8(5)	7(3)			6(3)	57(19)
湘南東部		2		1	3		9(3)	3	6(2)		1				25(5)
湘南西部		4(2)			5	7(1)	2	1	2	3(1)					24(4)
県西		1		1	1	1			1	3(2)					8(2)
横須賀・三浦		1(1)		7	6	1				4	1				20(1)
横浜市		1			14			1							16
川崎市					2										2
相模原市					3		1								4
県外					3			1							4
合計	0	10(3)	1	9	44	14(1)	25(11)	10	14(2)	18(8)	9(3)	0	0	6(3)	160(31)
	神経・筋疾患	脊髄障害	脳血管障害	骨関節疾患	後天性脳損傷(除くCVA)	脳性麻痺	知的障害	視覚障害	その他(切断・加齢等)	不明	合計	()の数字は訪問数			
県央	20(9)	3	6(2)		4(1)	4(1)	13(7)	9	2		57(19)				
湘南東部	5(2)	1	3		4(1)	9(2)	1	1		1	25(5)				
湘南西部	11(3)	1	1		3	1	3(1)	4			24(4)				
県西	4(2)					1		1	2		8(2)				
横須賀・三浦	4	1	1					4	6(1)	4	20(1)				
横浜市			1	1				14			16				
川崎市								2			2				
相模原市	1		1					2			4				
県外		1	3								4				
合計	45(16)	7	16(2)	1	7	15(3)	17(8)	37	10(1)	5	160(31)				

お困りごとがありましたら、ぜひ専門相談をご利用ください。



地域リハ支援センター 職員紹介

地域支援室

5年ぶりに地域リハ支援室に戻ってまいりました。少しでも地域の皆様のお役に立てますよう、また地域リハ支援センタースタッフの足を引っ張らないように、取り組んでまいります。(SW 瀧澤)

これまでの経験を活かし、さらに地域のニーズに応えられるよう努めていきたいと思ひます。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。(PT 有馬)



変化していく地域の現状を確認し、地域の支援者の方々と課題を解決できる活動を目指し、実行していきたいと思ひます。引き続き当支援センターをよろしくお願ひいたします。(副所長 PT 小泉)

今年度も、支援者の皆さまの声をより多く反映し、地域に根ざしたリハビリテーションの充実を目指したいと思ひます。よろしくお願ひいたします。(OT 吉澤)

令和7年度が始まります。マンネリすることなく意欲をもって地域リハの充実に貢献してまいります。(参事 磯部)

令和7年度のリハビリテーション専門研修会のお知らせをホームページに掲載しています。ご参加いただいた方には、とても分かりやすい講義とご好評いただいています。今年度も多くの方のご参加をお待ちしております！(事務 砂川)

高次脳機能障害の支援は長期にわたります。その間の生活の安定は重要で、地域機関のご協力が欠かせません。今年度もどうぞよろしくお願ひします。

(室長 リハビリテーション科 医師 青木)

高次脳機能障害支援室

はじめまして。今年度からソーシャルワーカーとしてお世話になる山崎です。まだまだわからないことばかりですが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

(SW 山崎)

今年度も引き続き、高次脳機能障害支援室の所属となりました。当事者の方やご家族、地域の支援者の皆様と一緒に、様々なところで関わられたらと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

(SW 植西)

コーディネーターの永井です。今年度も引き続き高次脳機能障害支援室のメンバーとして地域の支援者の皆様とともに活動に注力していきたいと思ひます。

よろしくお願ひ致します。

(高次脳機能障害相談支援コーディネーター 永井)



職能科の今野と申します。引き続き高次脳機能障害支援室を兼務させていただきます。

地域の支援機関の皆様と連携しながら、高次脳機能障害の方の就労・社会参加をお手伝いできればと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(職業指導員 今野)

皆様のお役に立てるよう、日々努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(公認心理師 齊藤)

支援コーディネーターが高次脳機能障害の相談窓口になります。神奈川リハビリテーション病院の受診は関係なく、当事者・ご家族・支援者の方からのご相談を受けております。些細なことでも結構ですのでご相談いただければ幸いです。今年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

(高次脳機能障害相談支援コーディネーター 佐藤)

地域リハビリテーション推進に向けた研修会を開催しました

地域リハビリテーションの推進には、地域の課題を発見し、対話の場をつくることが重要です。本研修では、各市町村の現状を知り、課題を見つけ、未来を描くことを目的に実施しました。

愛川町を中心に、厚木市・清川村の介護保険事業所、訪問看護、医療機関、行政機関の方々を対象とし、2日間にわたり研修会を開催しました。延べ60名の方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

「愛川町・厚木市・清川村の介護を考える」

第1部

1月19日(日)

今さら聞けない自立支援型地域ケア会議について



地域の課題(町内の問題)も様々であり、行政を含めて解決していけると良いと感じました。

小田原市の状況を知り、他職種のアドバイスに耳を傾け、顔の見える関係が望ましいと思いました。

過去事例に対し、モニタリング報告やアドバイスの反映実績を調べておりとても参考になりました。



第2部

2月5日(水)

愛川町・厚木市・清川村の住民の暮らしを支えるために必要なこと
～本音で語り、本気で語る多職種連携とチームケア～

他地域や他職種の方と色々と語り合い、地域の課題を共有することができました。

自発的に連携をとる事の大事さを学びました。また、連携のプロセスと行為が参考になりました。

顔がみえるコミュニケーションの場となり、他市町村の支援方法、連携方法など参考になりました。



参加者の声

高次脳機能障害支援室

今年度もよろしくお願いいたします。年度初めということで、支援コーディネーターのぼやきとして聞いていただければ幸いです。

高次脳機能障害という言葉はある程度認知されるようになり、ご相談いただく際にも、「病院で聞きました」「診断されました」と言われることが増えているように感じております。ただ、「症状はどのように説明を受けていますか」「原因は何でしたか」とこちらから質問をすると、支援者の方も把握されていないこともあります。社会的に高次脳機能障害というものが知られるようになっていますが、「具体的に・細かく」はまだまだ知られていない可能性があると感じております。普及啓発として、言葉を広めることがこれまでの活動だとすると、今後は、より具体的な支援方法や対応方法を考えていくことが求められているのではないかと考えております。

今年度から、障害福祉サービスの加算の研修である「高次脳機能障害支援者養成研修」が神奈川県でも始まります。支援拠点機関である当センターが研修を担当することになるため、開催に向けて準備をしております。支援拠点機関としては、これまでの事業も継続するため、事例検討会セミナー等の研修も行う予定です。巡回相談の当事者・家族会は、今年度から相模原には不参加となりますが、藤沢、小田原、大和への参加、さらには鎌倉や二宮、平塚でも不定期となりますが開催予定です。

今後も神奈川県の高次脳機能障害支援がよりよい方向に向かうように頑張りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

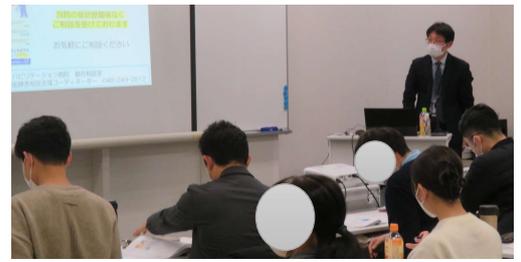
リハビリテーション専門研修

1.18(土) 高次脳機能障がいセミナー 就労支援編

復職を目指す高次脳機能障がい者の支援のポイントを踏まえながら医療機関・障害者職業センター・就労継続支援B型事業所がいつ、どのような方法で支援や連携を図っているかを学べた研修でした。

参加者の声

当事者だけでなく家族視点での話しや、その時期関わっていた就Bスタッフの話など、支えていた方の話が聞けたのが良かったです。



講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部 神奈川障害者職業センター 所長 小田 訓 氏
NPO法人 高次脳機能障害者の会ナナ スペースナナ 施設長 生方 克之 氏
神奈川リハビリテーション病院 職能科 OT 露木、SW 佐藤



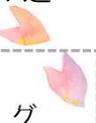
講師：株式会社Re ambitious 訪問R-station PT 田代 宙 氏
地域リハビリテーション支援センター PT 有馬

1.25(土) 維持期(生活期)における装具支援

「装具支援格差」の解決に役立つ、下肢装具の知識や制度、問題点やその対策について学びました。さらに、在宅リハの事例をもとに、具体的な解説やグループワークを通して、生活期における評価や連携の視点を深めることができました。

参加者の声

装具に関する保険や制度のことが整理できました。また、グループワークで色々な意見、考えを聞いて参考になりました。装具体験では対象者目線で行えて良い機会になりました。



2.1(土) 車いすシーティング

車いすやクッションを選択する際、車いすと利用者との適合を評価するために必要な基礎知識や座位姿勢の確認の仕方、車いすやクッションの調整等を講義や体験を交えて学べた研修でした。

参加者の声

座位姿勢のみかたを理解することでよりよいもの提供できると再認識しました。また、実際の体験を通して、姿勢や高さの調整など知れました。実践・評価をくり返していきたいと思いました。



講師：神奈川リハビリテーション病院 PT 森田、森迫
リハエンジニア 松田



2025年度 4～7月の専門研修予定

昨年度も無事に全17コースを開催することができました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

地域リハ支援センターでは、医療・福祉・介護に携わる方々を対象に、さまざまなテーマで研修会を開催しています。また、座学に加え、体験・実技練習・グループワークを取り入れることで、より理解を深められるよう工夫しています。

1	セラピストのためのハンドリング入門	5月 10日(土)	神奈川リハビリテーション病院
2	ポジショニング入門	6月 5日(木)	ウイリング横浜
3	(新)ノーリフティングケア入門	6月 6日(金)	ウイリング横浜
4	神経難病の「人」と関わるコミュニケーション支援	6月 21日(土)	神奈川リハビリテーション病院
5	知的障がいのある方への支援	7月 5日(土)	神奈川リハビリテーション病院
6	地域生活における装具支援	7月 19日(土)	神奈川リハビリテーション病院
7	高次脳機能障がいセミナー 小児編	7月 26日(土)	神奈川工科大学ITエクステンションセンター

編集後記
新年度がスタートしました。新しい環境や出会いの季節ですね。私たちも引き続き、皆さまのお役に立てるよう取り組んでまいります。(吉澤)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
☎ 046-249-2602
FAX 046-249-2601

研修申込

